

平成 29 年 9 月 29 日

株式会社 百五銀行
株式会社 日本政策金融公庫
津支店 農林水産事業

株式会社浅井農園に対する協調支援について
～ 三重県初、事業性評価融資の審査スキームを活用 ～

株式会社百五銀行および株式会社日本政策金融公庫津支店農林水産事業（以下、日本公庫）は、攻めの経営展開を行う株式会社浅井農園に対して、県内初となる事業性評価融資による協調支援を行いましたのでお知らせします。

《ポイント》

○競争力のある次世代施設園芸技術の実証・普及に取り組む

株式会社浅井農園は津市において三重サツキなどの緑化樹木およびミニトマトなどの野菜の生産・販売を行っています。

今般、青果流通業者や自動車部品メーカー、学校法人などとコンソーシアムを組み、国庫補助事業を活用して次世代施設園芸技術の実証および普及拡大に取り組めます。具体的には、平成 30 年 3 月までにトマトを生産する温室を建設し、同年 8 月からは収穫ロボットの実証や高度環境制御技術の実証・体系化に着手します。

○百五銀行および日本公庫が協調し、三重県初の事業性評価融資により支援

百五銀行および日本公庫は、同社の生産技術の高さや優秀なスタッフ、産学官のネットワーク・連携体制などを高く評価し、三重県初の事業性評価融資の審査スキームにより実証温室整備にかかる設備資金および運転資金について融資を行い、同社の経営展開を全面的に支援することといたしました。

今後とも、百五銀行と日本公庫は相互の連携を一層強化し、地域経済の活性化を図るべく、最適な金融支援や顧客サービスを実施していきます。



<企業概要ならびに事業概要>

企業名	株式会社浅井農園 代表取締役 浅井 雄一郎
所在地	三重県津市
【事業の概要】 <ul style="list-style-type: none">株式会社浅井農園は津市において明治40年の創業以来、百余年にわたって三重サツキなどの緑化樹木の生産を生業としており、創業101年目の平成20年から第二創業としてミニトマト生産を開始し、研究開発・生産から流通・販売まで取り組んでいます。三重県の次世代施設園芸の推進役として青果流通業者や自動車部品メーカー、学校法人などとコンソーシアムを組み、平成29年度次世代施設園芸拡大支援事業補助金を活用して平成30年3月までにトマトを生産する温室を建設します。そして、同年8月からは収穫ロボットの実証や高度環境制御技術の実証・体系化に着手します。百五銀行ならびに日本公庫は、浅井代表の的確なリーダーシップなどの経営能力、高品質のミニトマトを安定的に高単収で生産できる技術力、産学官のネットワークを活用した先進的取組みなどを高く評価し、「事業性評価融資」の審査スキームを活用し支援いたしました。具体的には、日本公庫は実証温室整備にかかる設備資金を融資し、百五銀行は同事業および既存事業にかかる運転資金を融資することで、同社の先進的取組みを支援することといたしました。	

<事業性評価について>

事業性評価とは、金融機関が、現時点での財務データや保証・担保にとらわれず、企業訪問や経営相談などを通じて情報を収集し、事業者の事業の内容や成長可能性などを適切に評価するものです。百五銀行ならびに日本公庫は、同評価にもとづく融資や助言を行うことで、地域産業のさらなる成長支援に取り組んでいます。

以 上

本件に関する問合せ先		
百五銀行 地域創生部	蒲 (ガマ)	電話：059-223-2365
日本政策金融公庫 津支店農林水産事業	後藤、丸山	電話：059-229-5750